



GOVERNOR'S Monthly Letter

国際ロータリー 第2580地区 ガバナー月信

December 2020
No. 6

12

ガバナー 野生司 義光

■ 日本を救ったスリランカのジャヤワルダナ大統領と ダルマパーラ

先月のガバナー月信で書きました通り、サンフランシスコ講和会議は敗戦国・日本の独立を認めるかを決する正念場でしたが、米国を中心とする講和条約案に対し、ソ連は日本独立を制限する対案を提出し、中華人民共和国の同調を求めるなど講和会議は紛糾していました。そのような中を、ジャヤワルダナは「日本は自由であるべき、占領を解いて直ちに独立を回復させるべき」とし、「憎悪は憎悪によって消さるものではなく、ただ慈愛によってのみ消え去るのである」と仏陀の言葉を引用しつつ、アジアにおける日本の尊厳ある立場を述べた上で、日本に対する賠償請求権を放棄することを言明しました。その時会場は、しばらく静まり返った後に大喝采が続き、結果として数か国を除き49か国が講和条約に署名し、日本はついに国際社会に復帰したのでした。ソ連の思惑は日本の分割統治であったと言われております。

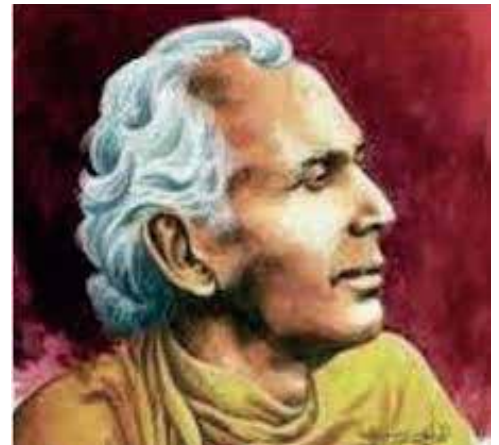
しかしながら、このことは日本人にはほとんど知られていないような気がいたします。

後に第2代スリランカ大統領になるジャヤワルダナ大統領は、同じスリランカ人のダルマパーラが日本の仏教界・仏教徒と深い絆で結ばれていることを良く承知しており、また、ジャヤワルダナ自身の経験からも、日本や日本人が一方的に裁かれるべき罪人であるはずはないと認識していたことによります。日本人であるならジャヤワルダナに対する感謝の念を忘れることはできません。日本は明治中後期から、仏教文化を底流として、インド、スリランカ他のアジアの人々と相互理解を深めてきました。

1903年（明治36年）に発足した日印教會の、大隈重信、渋沢栄一という幹部や財界人等、139名の会員名簿の中にダルマパーラの名もあります。この14年前の1889年（明治22年）にダルマパーラは初来日をしましたが、後に日印協會の役員となる高楠順次郎博士（仏教とインドの研究者）との知遇を得るなど、多くの仏教関係者と交流を深めました。

ダルマパーラはオルコット教会で神智学に惹かれ、その後、1889年に日本を訪問しました。神智学協會はキリスト

教に圧迫されるスリランカ仏教の復興を支援して、大きな成果を上げており、会長 H.S. オルコット大佐（米国人）の名声は日本まで届いていました。キリスト教徒の攻撃に危機感を抱く



アナガーリカ・ダルマパーラ（1864-1933）

く日本仏教界が、オルコット会長を日本に招聘、ダルマパーラも随員として初来日を致しました。

白人の仏教徒に京都・知恩院の満場の観衆は度肝を抜かれたそうですが、神智学協會の演説会は、全国33都市で76回開催されました。

この時、ダルマパーラは日本の寒さのために体調を崩し長く病床に伏せましたが、若き日本人仏教徒・高楠順次郎が熱心に看病し、二人は終生変わらぬ友となりました。この縁で、後に初転法輪寺（お釈迦様が悟りを開いた聖地に建つ寺）の壁画を日本人に託すきっかけになりました。

以降次号につづく……………。



初転法輪寺のダーメーク塔

地区委員会 今年度の活動方針 (社会奉仕委員会、国際奉仕委員会)

社会奉仕委員会

委員長 茂木 正光
(東京板橋セントラル RC)



地区社会奉仕委員会の役割は、各クラブの社会奉仕事業の活性化のサポートです。そのために、情報提供・情報共有などを行っています。わたしの考える「社会奉仕」は、①地域の課題／ニーズをとらえているか？、②奉仕の実感を得られるか？、③クラブの活性化につながるか？です。言い換えると、地域の課題／ニーズをとらえた社会奉仕事業をまず行うとともに、会員が奉仕に関与しその実感を得て、クラブが活性化し、これを退会防止や会員増強につなげるということになります。もちろん、クラブの人数・会員構成・予算、地域性、歴史・方向性により、クラブの行う社会奉仕の具体的な事業は異なります。地区社会奉仕委員会の事業として、「新型コロナウイルスに関する社会奉仕事業アンケート」と「社会奉仕事業アンケート」(前年度の各クラブの社会奉仕事業を対象)を実施しました。新型コロナウイルスの影響により休止となっている子ども食堂による困窮世帯への食材提供のサポートなど地域の子どもへの奉仕がトレンドになっているようです。それぞれの集計結果は、9月、3回に分けてオンラインにより開催しました「地区社会奉仕全体会議」にて各クラブの社会奉仕委員長に情報提供しました。また、各クラブの社会奉仕事業の企画・運営状況についての情報共有を行うこともできました。社会奉仕事業の企画について話し合いの機会がなかなか持てない、コンサートやお祭りなどイベント型の社会奉仕事業の開催ができない(延期せざるを得ない)など新型コロナウイルスの影響を受けていることがわかりました。今後、新型コロナウイルスの経済的・社会的な影響として、失業者の大量発生、貧困世帯の増加、子どもの生活・教育の質の低下、そして、社会的負のスパイラルの発生が予想されます。各クラブがそれぞれの地域で、これらの影響に対して防止する・備える社会奉仕事業の企画・運営のサポートができればと考えています。

職場・就業体験委員会

委員長 中島 慶貴
(東京青梅 RC)



地区職場・就業体験委員会は2018年

に地区職場体験インターンシップ委員会から改名され、本年度から青少年奉仕委員会から社会奉仕委員会の委員会となりました。地区職場就業体験事業は2580地区のホームページの会員事業者一覧を中学生、高校生が閲覧して、直接会員事業者を受け入れをエントリーするシステムで有ります。昨年度の受け入れに対して御協力頂いた多くの会員事業者様には大変感謝致します。

さて2580地区は東京都・東京都教育委員会との「中学生の職場体験」推進協議会委員でしたが、昨年度は推進会議が中止となり、これからは区市町村教育委員会や中学生を主体として引き続き実施する方向性となりました。そして昨年度は事業者表彰式も中止となり、事実上の連携の解消となりました。また例年5月中旬に実施されていた東京都教育庁指導部と東京都教育委員会連携によるインターン実施都立高校とのインターンシップ事業連絡会も新型コロナウイルス感染症予防により中止となり、各学校との実施計画説明等の場が失われ、実施学校の実施状況や受入事業者の要望等の確認が出来ないという状況となってしまいました。更に新型コロナウイルス感染症予防により現在、2580地区の地区職場就業体験事業ホームページ会員事業者一覧は閉鎖されており、本年度の中学生、高校生の受入は行われない状況となりました。

その様な状況の中、委員会の委員様から「今後も受け入れてくれる事業者が無くなってしまえば学生はきっと困ると思うので、そこに対してロータリークラブは門戸を閉じずにむしろ開いて行くべきである。」との力強いご意見も頂き、今後の地区職場就業委員会と致しましてはアフターコロナに向けての事業再開への一歩の年として、受入経験のある会員事業者様の体験談の募集や本事業に対しての卓話の実施の機会を頂戴出来ればと思っております。何卒ご理解とご協力をお願い致します。

ロータリー 希望の風奨学金委員会

委員長 池永 憲明
(東京城東 RC)



希望の風奨学金は、東日本大震災で親を亡くした子供が高校を卒業した後、さらに上の学校で学ぶ時、毎月5万円の返済の必要無い奨学金を給付する事業です。現在ロータリー30地区他で支えられている事業です。この事業は2011年3月までに生まれた子供が22才になる2033年まで続く事業です。

震災後10地区及び日台ロータリー親善会議等から集まった支援金を元にスタートしました。当初は給付する奨学生の人数を最終年度まで予想し、始めに集まった支援金に、毎年の寄付金を支援頂ければ最終年度まで事業が完遂できる計画でした。しかしながら、近年奨学生の数が予想を大きく上回り、対して集まる寄付金は毎年減少して行くという状況になり、このままではこの事業を最終年度まで継続する事に懸念が出てまいりました。

人数が増えた原因としては、大学等、上の学校に入学してから奨学金申請をする等、当初考えていた支給資格から外れた学生にも申請を認めていた事例が多く見られた等です。

今年になりこの事業を運営している東日本大震災青少年支援連絡協議会の総会にて、奨学金申請資格を厳格化する議案が審議され承認されましたので、いくらかは奨学生の人数が減少して行くものとは思いますが、それでも最終年度までの事業継続にはまだ懸念が残ります。

当地区は、この事業を運営に関しては中心的な役割を担っており、寄付金の額も2番目に多い地区となっております。当委員会では、地区内のメンバーにこの状況を訴え、他地区をリードできる様に活動をして行きたいと考えております。

これまで、委員会内ではメールのやりとりだけで連絡を取り合っておりましたが、社会奉仕委員会もすべてZOOMでの会議になっておりましたが、10月に初めて対面で委員会を行い、この状況の把握、認識の共有、意見交換を行いました。いくつかのクラブでは卓話をさせて頂きましたが、このコロナ禍の中で、IMが中止になる分区が続出し、各クラブの記念行事もクラブ内に限られる等、この状況を訴える場が少なくなっております。是非PRの機会を与えて頂きます様お願いいたします。そして再度この事業の意義を認識して頂き、ご支援をお願いしたいと思います。

国際奉仕委員会

委員長 長與 博典
(東京後楽 RC)



本年度の地区国際奉仕委員会は、地区国際大会参加推進委員会(委員長 志熊 昌宏)、地区日台親善委員会(委員長 齊藤 実)、バギオ基金委員会(委員長 角田 俊一)、以上の、4つの委員会を被包括委員会として、相互の情報交換や協力関係が持てることにしました。特に日台ロータリー親善会議が福岡開催の予定であったこと、また、国際大会が台北開催の予定であることから合同の委員会会議を開

催し、役割分担も含めて協力して活動を行うことにしました。

国際奉仕委員会

各クラブにアンケート調査をお願いいたしました。その内容は、姉妹友好クラブの締結について、今後の補助金活動の計画について、台北国際大会参加予定について、日台親善会議参加予定について、バギオ基金の認知度について、などの質問をさせて頂きました。集計につきましては、まとまり次第各クラブへ送らせていただきます。

本来ならば、国際奉仕活動の積極的な参加のために在京と沖縄で「クラブ国際奉仕委員長会議」を開催してプロジェクトの立案と実施、ロータリー補助金について研修と情報交換すべきところですがコロナ禍を考慮し、実施を見合わせております。

国際大会参加推進委員会

台北国際大会参加についてアンケート調査によりますと、9月末日で545名の参加予定とまだ検討中などの回答をいただきました。また、本大会前日(6月12日)開催予定のポリオ根絶キャンペーン(5K ウォーキング)への参加を呼び掛けています。また、開催期間中に友愛の広場で2580地区ブースを設置することにしました。

ブース利用については、各地区委員会および各クラブの要望を募集し、2580地区および各クラブの活動アピールに繋がる事を企画したいと思います。

コロナ感染状況によって予定変更の可能性もあります。

日台親善委員会

今年3月開催予定の日台ロータリー親善会議福岡大会がコロナ感染拡大の影響で延期となり、来年3月開催を目指して準備を進めて参りましたが、いろいろナリスクを考慮して中止と決定されました。今後の開催については日台親善役員会および台湾側と協議していくことになっております。

バギオ基金委員会

今回のアンケート調査にも、バギオ基金についての認知度、理解についてお尋ねしておりますが、各クラブへの卓話訪問について委員会で受付しています。連絡いただければ日程調整の上お伺いいたします。また、今期もバギオ訪問を、2021年2月11日から14日の日程で計画しております。(状況によって変更されることもあります。)

コロナ禍に於いての国際交流は、ことのほか困難な状況ですができる限り可能な策を考慮してまいります、皆様のご協力をお願いします。

ご厚意に対し、深く感謝申し上げます

- | | | |
|---|--|---|
| ロータリー財団メジャードナー
レベル1
土居 岩生 (東京お茶の水) | 6回 浅野 茂太郎 (東京)
井上 義勝 (東京葛飾東) | 岡本 多計彦 (東京) |
| マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
4回 斉藤 実 (東京臨海)
3回 伊藤 守 (東京本郷) | 5回 油井 直次 (東京)
伊部 幸顕 (東京)
石鍋 元章 (東京江北)
岩尾 碩 (東京青梅) | 蒲野 宏之 (東京)
里田 益弘 (東京浅草)
多賀 之雄 (東京江戸川)
安里 政晃 (那覇) |
| ポール・ハリス・フェロー
宮崎 清 (東京新都心) 梅若 幸子 (東京ワセダ) | 4回 阪口 幸治 (東京浅草)
鈴木 義政 (東京板橋)
今西 敦之 (石垣) | 原田 喜弥 (東京浅草)
廣内 世英 (東京豊島東) |
| 米山功労者・メジャードナー
76回 鈴木 孝雄 (東京池袋)
34回 濱野 堅真 (東京)
29回 清水 英世 (東京西北)
18回 杉浦 正和 (東京) 加藤 利雄 (東京本郷)
17回 上田 元彦 (東京) 坂下 博康 (東京北)
若宮 正英 (東京王子)
14回 鈴木 清二郎 (東京王子) 松坂 順一 (東京葛飾東)
13回 古内 龜義 (東京セントラルパーク)
小川 明治 (東京王子)
加藤 康太郎 (東京王子) 芝 久雄 (東京江北)
12回 竹中 康一 (東京)
11回 林 克昌 (東京) 八木 敏廣 (東京新宿)
四方 満 (東京新宿) 大久保裕二郎 (東京リバーサイド)
鈴木 義雄 (東京東江戸川) | 3回 馬城 文雄 (東京)
葉師寺 啓子 (東京王子)
山尾 尚司 (東京浅草中央)
伊藤 守 (東京本郷)
小宮 勝巳 (東京江戸川中央)
長島 和子 (東京臨海東)
2回 平山 洋二 (東京新宿)
小森谷 典明 (東京浅草)
藤田 皓一 (東京板橋)
加藤 昭雄 (東京浅草中央)
実方 昇 (東京江戸川中央)
飯村 雅洋 (東京武蔵野中央) | 榎本 孝之 (東京練馬西)
園部 容弘 (東京浅草中央)
古谷 輝彦 (東京浅草中央)
神谷 恭 (東京葛飾東)
長谷川 隆 (東京江戸川中央)
鈴木 淳 (東京浅草)
中川 雅雄 (東京浅草)
岡本 教雄 (東京板橋)
田中 吉嗣 (東京江戸川)
田中 永二 (東京武蔵野中央) |
| 米山功労者・マルチプル
9回 黒川 光博 (東京) 土居 岩生 (東京お茶の水)
岩倉 弘毅 (東京江戸川)
8回 小池 孝 (東京) 宮部 一弘 (東京池袋)
河原 啓介 (東京浅草) 横山 巖 (東京江戸川)
松村 博文 (東京秋川)
7回 村本 久夫 (東京) 田名 毅 (那覇東) | 米山功労者
青山 典裕 (東京北)
松崎 徹哉 (東京浅草)
林 英彦 (東京浅草)
荒牧 和夫 (東京板橋)
郷田 浩一 (東京リバーサイド)
菊川 清 (東京後楽)
鄭 子揚 (東京後楽)
山田 晃久 (東京臨海)
小町 幸生 (東京東村山)
岩原 隆 (東京東村山) | 石川 千世 (東京王子)
和倉 洋 (東京浅草)
谷井 邦夫 (東京板橋)
高田 雄彬 (東京板橋)
知花 孫光 (東京後楽)
宇田川 義夫 (東京臨海東)
北久保 隆一 (東京東村山) |

2020年10月31日分まで 敬称略 順不同

会員数報告

2020年7月1日クラブ数	70	RC
2020年7月1日会員数	2,868	名
(内女性)	204	名
2020年10月30日クラブ数	70	RC
2020年10月30日会員数	2,941	名
(内女性)	206	名
2020-21年度入会者	114	名
2020-21年度退会者	41	名
2020-21年度会員増減数	73	名

訂正とお詫び

11月配布のガバナー月信3ページ掲載の写真で、東京武蔵村山ロータリークラブ例会場とあるのは、東京東村山ロータリークラブの誤りでした。お詫びして訂正いたします。

ガバナー月信担当地区副幹事 平井憲太郎 (東京池袋西 RC)

【哀悼】 謹んで哀悼の意を表します

東京紀尾井町ロータリークラブ

いまい そうよう
今井 宗陽 会員

逝去日 2020年10月18日 享年76歳
入会日 1995年1月
マルチプル・ポール・ハリスフェロー
ベネファクター
米山功労者メジャードナー



東京秋川ロータリークラブ

ふじさわ しょういち
藤澤 昌一 会員

逝去日 2020年11月4日 享年76歳
入会日 1981年3月7日
(株)藤澤設計 代表取締役
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
ベネファクター
米山功労者マルチプル

